



見た目だけじゃなく、それぞれの地域に生活してきた人たちの歴史が、独特の空気をつくっているんだらうな」

散歩をするときは、ただ歩き回るのではなく、ときには立ち止まって目を閉じてみたり、ブランコに乗って風を感じたりしてみると、その土地の魅力をもっと感じることができると、それが「散歩の達人」からのアドバイスだ。ブランコに揺られて下関の空気を堪能した地井さんは、いったん長崎中央通りにもどったあと、反対側の丘に歩を進めた。

かなり急な坂なのにもかかわらず、小高い丘にはびっしりと住宅が並んでいる。そのあいだを縫うように細い坂道や階段が絡み合いながらのびていて、どれが私道でどれが公共の道なのかすらもわからない。きれいに区画された道ばかりの都会から来た人間にとって、この混沌ぶりはたまらなくおもしろい。路地好きの地井さんは、気の向くままに階段をのぼり、足の向くままに坂道を曲がってゆく。





がまったくなくなってしまう故郷・  
九十九里浜の変貌を見るにつけ、「何  
か方法があるだろう」と思わずにはい  
られないのだ。

路地大好きな地井さんが  
迷子になりながら  
ニコニコしてる

#### 【笹山町の丘】

日和山公園の、かつてミニ動物園  
だった一角にブランコがあった。実は  
地井さん、知る人ぞ知るブランコ・マ  
ニアである。

「ブランコなんてみんなおなじと思っ  
たろ？ 違うんだよ。何がって？ 景  
色も違うし空気も違う。それがタダで  
楽しめるんだよ。乗らなきゃ損だよ」

ウォーキングの趣味が高じて、東京  
を中心に放送されている人気番組「ち  
い散歩」でも1年中散歩を楽しんでい  
る地井さん。最近、街による空気の  
違いを敏感に感じるようになった。

「左のほほと右のほほに感じる空気が  
違うこともあるんだ。見回してみると、  
道の左右で並木が違っていたりする。